

第1回災害廃棄物の受入に関する検討会の内容

北九州市が示した災害廃棄物の処理方法(案)

- 災害廃棄物の処理は、徹底的な安全管理のもとで実施されます。
- 放射能濃度及び放射線量を測定し、安全性を確認するとともに、モニタリングを実施します。

■全体の処理工程



「災害廃棄物の受入に関する検討会」での主な意見

- 市民に分かりやすく、十分な情報提供が必要。
- 放射性物質の測定は、市民の方の不安を払拭するため必要に応じて適宜行うよう検討して欲しい。
- 市が基準としている放射能濃度(100ベクレル/kg)は、人体への影響を無視できる放射線量(0.01ミリシーベルト/年)を目安としているため安全。

検討会では、以上のような意見が出され、試験焼却の実施について理解が示されました。試験焼却の結果は、第2回目の検討会で報告され、改めて意見をうかがう予定です。

5月1日に開催された検討会

